

米サーモフィッシャーサイエンティフィック 東京バイオマーカーリサーチセンター設立を目的としたコラボレーションを発表

【米国カリフォルニア州・サンノゼ 7月23日発表】世界をリードする科学サービス企業 Thermo Fisher Scientific Inc.は、日本の個別化医療とヘルスケア分野における、質量分析ワークフローとテクノロジーの導入を目的としたコラボレーションを発表します。これは、当社の Biomarker Research Initiatives in Mass Spectrometry (BRIMS) センターと、東京医科大学 西村俊秀教授、および東京医科大学病院ジョージ・マルコ・ヴァルガ教授（スウェーデン王国ルンド大学）とのコラボレーションで、東京都内にバイオマーカーリサーチセンターの設立をサポートするためのものです。新バイオマーカーリサーチセンターは、疾患メカニズム、病態診断や薬物治療の有効性・副作用、治療効果のモニタリングなど、患者層別化や個別化医療の実現のために必要なバイオマーカー探索同定と定量的検証を実施して、技術開発を並行して行い課題解決に取り組みます。

当社の BRIMS センターは、新しい東京バイオマーカーリサーチセンターの先駆となりえるものです。当社の質量分析技術に基づくワークフローの開発と技術提携、また同様の研究分野におけるコラボレーションを目的としています。

同社日本法人サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社サイエンティフィックインスツルメンツ事業本部シニアダイレクター、マアリー・ウィグモアーは、次のようにコメントしています。「日本でも、患者数の増大に伴って、よりターゲットを絞った疾患検出、治療が重要になってきます。当社の BRIMS が、米国外でコラボレーションを展開するのは日本が初めて、ということになりますので、他国での事業展開のモデルとなるべく取り組みます。」

このコラボレーションにより、東京医科大学にはバイオマーカーに特化したリサーチセンターが設立されます。肺がんや慢性閉塞性肺疾患 (COPD)、循環器疾患などへの懸念から、タンパク質の発現とそれらの定量的な制御関係は、薬物応答のバイオマーカー候補の発見に重要な役割を果たします。同リサーチセンターには組織細胞と血液のサンプル、臨床データ、人口動態データなどをアーカイブすることになっています。また、スカンジナビアおよび他の欧州諸国における臨床研究での薬物反応サンプルのアーカイブも含まれます。

コラボレーション関係者について

東京医科大学科学第一講座客員教授 西村俊秀氏（2002年～2006年 臨床プロテオームセンター教授）は、臨床分野における質量分析手法開発に注力されています。主な医療機関や病院との緊密なコラボレーションにより、肺がんおよび前立腺がんのバイオマーカー研究で数多くの臨床研究実績があります。これまで、国内で52の肺がんセンターのプロテインバイオマーカー探索研究に携わり、この分野で幅広いネッ

トワークを構築されています。西村氏は、現在、日本ヒトプロテオーム学会（JHUPO）と臨床プロテオミクス研究会（JSCP）の理事を務めています。

Gyorgy Marko-Varga（ジョージ・マルコ・ヴァーガ氏）は東京医科大学教授、スウェーデン王国ルンド大学教授、かつアストラゼネカ製薬の創薬開発シニアサイエンティストです。氏の最近の研究は、高分解質量分析技術による、肺がんとCOPDの疾病メカニズム、薬物作用の解明と、新しい診断分析とプラットフォームの開発に関するものです。このリサーチグループは、製薬会社、大学、また病院を含むコラボレーションとなります。ヴァーガ氏は、これまで、西村教授と共同で、日本で52の肺がんセンターのプロテインバイオマーカー探索研究に関わりました。ヴァーガ氏の主な研究対象は、スウェーデンに400,000人ももの患者がいるといわれる「ビッグ・スリー」肺がん、循環器疾患、COPDに関わる研究です。

BRIMS センターについて

2004年に米国サーモフィッシャーサイエンティフィックがマサチューセッツ州ケンブリッジに設立。プロテインバイオマーカーの探索と検定におけるメソッドとアプリケーション開発を目的としています。同社の質量分析技術の粋を集結した施設には、質量分析、プロテイン研究、インフォマティクスの専門スタッフがプロテオーム研究のソフトウェア開発などにも取り組んでいます。

米国Thermo Fisher Scientific Inc.について

Thermo Fisher Scientific Inc. (NYSE:TMO) は、世界をリードする科学サービス企業です。私たちのミッションは、私たちの住む世界を「より健康で、より清潔な、より安全な場所」にするために、お客様へ製品・サービスを提供することです。100億ドル以上の収益と35,000人の従業員を誇り、医薬・バイオ企業、病院、臨床診断ラボ、大学、研究機関、公共機関のほか、環境分野・プロセス管理分野のお客様に貢献します。当社の二つの強力なブランド、Thermo Scientific と Fisher Scientific は、大切なお客様のために価値を生み出し、常に技術開発を行い、お客様に選択の幅と利便性を提供しています。当社の製品とサービスは、科学の側面からイノベーションをもたらし、先端研究からルーチン測定、フィールド測定にわたる分析の問題を解決します。ウェブサイト: www.thermofisher.com

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社（日本法人）について

米国 Thermo Fisher Scientific Inc の日本法人である、サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社は、総合システム分析機器およびバイオ関連機器、研究用試薬などの販売会社です。日本国内では横浜、東京、大阪、福岡に拠点をもち、質量分析計をはじめとする各種分析機器、各種バイオ関連機器、計測器、医療機器、ラボ用ソフトウェア、研究用試薬を取り扱っています。

本社：神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9 C-2F

代表取締役社長： デイヴィッド・マリーナ

URL： www.thermofisher.co.jp

このリリース内容に関するお問い合わせ先

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

サイエンティフィックインスツルメンツ事業本部 クロマトグラフィー&MS 営業部

電話 0120-753-670

<http://www.thermoscientific.jp>

Email: info-jp@thermofisher.com